

社会に*近い*。

都心のキャンパスだから 発信する場がいっぱい！

都心にキャンパスがある東京メディア芸術学部では、クリエイティブな活動を日常的に体験できるのが大きな魅力です。学内での学びにとどまらず、学外で行われる制作活動をきっかけに、幅広い知識や技術を身につけていく事が出来ます。実社会での経験を通して学生の自信を引き出すと同時に、卒業後のシミュレーション体験ができます。



©株式会社水鳥工業
宝塚大学東京メディア芸術学部

PICK UP 1

宝塚大学東京メディア芸術学部は2020年開催の国際競技大会組織委員会と連携協定を締結しています。また、これまでも新宿区と本学部は様々な分野で、相互に連携協力を図っています。新宿区及び地域との連携協力を一層強化し、本学部は、授業や学外活動を通した様々なメディア芸術を使ったデザイン提案を実施し学生たちの活躍の場を作っています。



「パラスポーツ魅力発信企画展」展示風景

PICK UP 2

「みなとメディアミュージアム」(以下、MMM)は、関東の大学生が茨城県ひたちなか市ひたちなか海浜鉄道湊線沿線を舞台に、主体的に活動を行う現代アートプロジェクトです。MMMは本学の田島悠史特任講師が2009年に創設した現代アートプロジェクトであり、地域との継続した関係を築いています。本学学生のほか、慶應義塾大学、明治学院大学、常磐大学、茨城大学などの学生が協働する社会実践の場となっています。



みなとメディアミュージアム(MMM)2017「ワークショップ」

ACTIVITY

課外活動

宝塚大学では授業内での課題だけでなく、学外で開催されている大型の展示イベントや、自治体・企業と連携した制作活動に、積極的に参加しています。

参加したイベントは、学生たちが主体となって企画・運営。

自身の作品を発表する機会が得られるだけでなく、参加を通して新たな発見や成長のきっかけに出会えます。

商品擬人化・ メディア展開 プロジェクト

げた製造販売などを行う株式会社水鳥工業(静岡県)と包括的連携協定を締結し、メディアコンテンツを活用した様々なデザインを展開しています。2016年より、株式会社水鳥工業が手がける「URUSHIシリーズ」の下駄「KOKON」の擬人化を同社と本学学生によって共同で開発をしました。本学との連携により、商品の認知度・イメージアップを図っています。事業の第一弾は商品キャラクターのデザインとマンガによる企業のPRを企画しました。2017年に新たに6体の擬人化キャラクターが発表され、新宿の商業施設やイベントスペースにて展示されることで、東京メディア芸術学部の取り組みを広く地域にアピールするものとなりました。今後のメディア展開にも注目です。



©株式会社水鳥工業「URUSHI」(m2)「KOKON」



水鳥こころ



©株式会社水鳥工業 宝塚大学東京メディア芸術学部



2019

宝塚大学

東京メディア芸術学部

Manga / Illustration / Animation /
Game / Media Design